

- 2 秋田市 街並み探訪～南通地区～
ルーバーの役割
- 3 「勾配天井」のメリットを活かしたリビング
炎による癒し生活
- 4 家庭でできる夏の省エネ
『網戸』ネットの色・素材いろいろ
- 5 グリーンカーテン
暑さに強い!! 夏の花5選
- 8 シャワータイムを豊かに

かだん

株式会社 秋田建設工業新聞社
URL <https://www.akks.co.jp/>

〒010-0951 秋田市山王6丁目8-42
Tel 018-863-4113 Fax 018-863-4319
E-mail kadan@akks.co.jp

木造・木質化で「都市に森を」。秋田プライウッドが提案する「合板」活用の新たな可能性



「現し」の合板が圧感の玄関ホール



超厚合板



超厚合板



木を捨てずに使い切った「究極のカーボンストックテーブル」

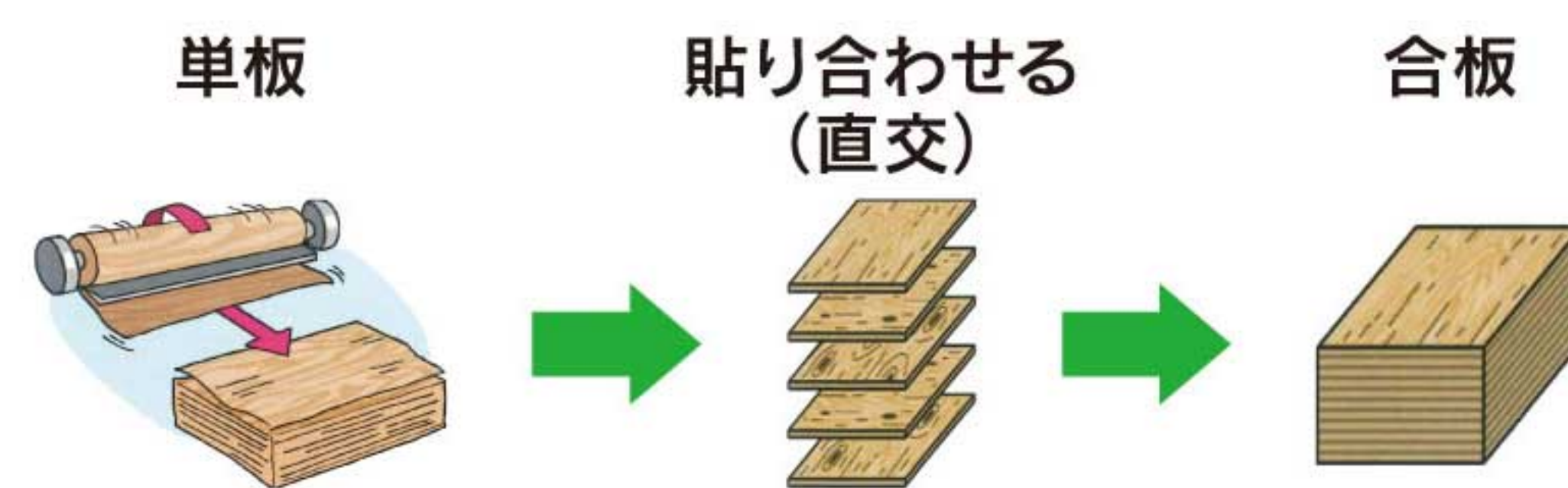


合板の端材を組み合わせ、
積層面を“魅せる”デザイン

テーブルの裏面はあえて
不揃いでプサプサのまま
カーボンストックを実現

「合板」は、木のミルフィーユ

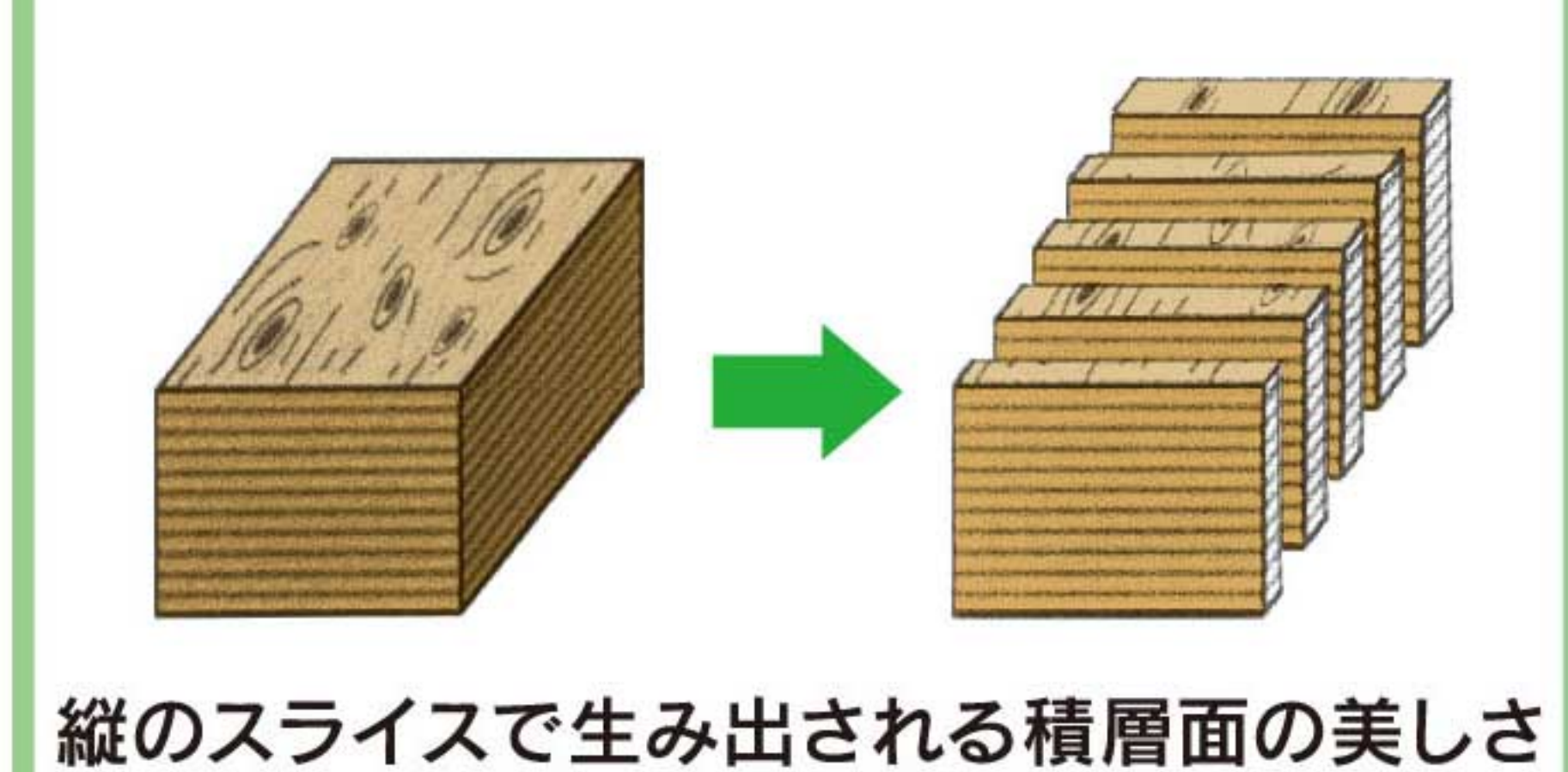
合板は、秋田プライウッドの主力商品。丸太（原木）を大根の桂剥きのように2～3ミリに薄く切った「単板」を、木目（繊維方向）が直角に交わるように互い違いに重ねて接着したミルフィーユ状の板材。木の利用しにくい部分まで製造技術で無駄なく使う。「熱伝導率が小さい」「調湿作用を持つ」など木材の性質を備えた上で、伸び縮みが少なく、耐久性にも優れた素材として、住宅の構造部材を中心に広く使われている。



**圧倒的なデザインで
お客様をお迎え**
リノベーション
された厚生棟は、
木をふんだんに使
った意匠で来客を
出迎える。
玄関ホールは、
天井から床まで、
左右の壁全面を合
板の積層面（切断
面）の組み合わせで
大胆にデザイン。
濃い茶色から白ま
で、積層面が生み

出す多様な色味の
コントラストの美
しさが圧巻だ。
「隠れていた合板を
仕上材として魅せる」
合板の新たな活
用法の大きなポイ
ントは、「現し」の
建築手法で合板
の美しさを前面に
出す「見せ方」の
提案。通常は建物
の構造用として、
壁紙や天井板に隠
れていた合板を

「仕上材」として
使用することで、
従来にはない意匠
を生み出す。
何層にも貼り合
わせた合板は、「縦
の方向」にスライ
スすることで、表
面の木目とは全く
違う模様が生まれ
る。この木口の積
層面の美しさをそ



縦のスライスで生み出される積層面の美しさ

のまま壁やテー
ブルの天板に使用
することで、味わ
いのあるデザイン
を生み出す。
**究極のカーボ
ンストックテー
ブル**
意匠の美しさと
ともに、「木を可能
な限り無駄なく使
い切る」ことも徹
底。合板を製造す
る過程で切り落と
された端材や、丸
太を剥いて最後に
残る「剥き芯」な
ども、新たな活用
法を模索し、活か
し切ることを提案
している。

2階のミーティ
ングルーム（2室）
に配置したテーブ
ルは、厚さ24ミリ
の杉合板の端材を
貼り合わせ、表面
を合板の積層面だ
けで表現した一
方、無加工の裏側
は端材が不揃いの
ためプサプサのま
ま。木を最後まで
使い切った製品は

「究極のカーボ
ンストックテー
ブル」と名付けられ
た。
3階会議室の
テーブルは、プレ
カットで生じた端
材を組み合わせた
天板の仕上げが美
しい。
**強度の高い超厚合板は
骨組みにも使用可能**
単板を何層にも
重ね合わせた「超
厚合板」は強度が
高いことから、従
来の用途である
「部材」とどまら
ず、「躯体」建物本
体の骨組みとして
の活用も可能。住
宅の梁など従来、
製材品を利用して
いる箇所への使用
拡大を目指す。

木質化リノベーションした厚生
棟は、各方面から高く評価され、さ
まざまな賞を受賞しました。

木材利用推進コンクール
（木材利用推進中央協議会）
令和6年度国産材利用推進部門
木材利用推進中央協議会会長賞

ウッドデザイン賞2024
（日本ウッドデザイン協会）
建築・空間分野、
ソーシャルデザイン部門

ウッドファーストあきた
木造・木質化建築賞（秋田県）
令和6年リノベーション部門
最優秀賞

木は、燃やせば
CO2を排出して
地球温暖化の要因
になるが、木のま
ま使っている間は
炭素をストック
し、CO2を排出
しない。建物に木
を多用すること
は、木を植えるこ
とと同じように、
社会の要請である
「カーボンニュー
トラル」につなが
る意味を持つ。
秋田プライウッド
の金田憲明取締役
総務経理部長は
「これからの社会
は、人口減少に伴
い、木を使う総量
も減少が避けられ
ない。それでも、
木の出番は増やせ
る。鉄筋コンクリ
ート造や鉄骨造の
建物が多い都市部
でも、内装の木質
化によって「都市
に森を」増やすと
いう価値を届ける
ことができる」と
力をこめる。



剥き芯

玄関アプローチの壁面には、
丸太から合板の材料を剥きとり、
最後に残った「剥き芯」を並べて、
ログハウス調の風合いのある仕上げを施した。

植える、育てる、収穫する、上手に使う、そしてまた植える。
永遠の緑の循環を守り、持続可能な社会の実現を目指します。



秋田プライウッド株式会社
秋田市川尻町字大川反232 Tel:018-823-8511

